

みんなの 広報

「みんなの広報」は市民の皆さんから投稿いただいた情報を掲載しています。掲載している情報は行政情報ではありませんので、不明な点などは各問い合わせ先に連絡してください。
また、投稿は随時募集しています。
詳細は市ホームページを確認してください。
▶問い合わせ 秘書課 ☎0287(62)7109



11月6日(日)

第3回那須クラシック音楽祭

10月～11月に那須高原の各地で開催中の「第3回那須クラシック音楽祭」。本市では、ヴァイオリンと箏、箏、地歌三味線という和洋楽器による珍しいコンサートを開催します。



- ▶とき 11月6日(日) 午後2時～(午後1時30分開場)
- ▶ところ 割烹石山 千鶴の間(本町5-5)
- ▶入場料 2,500円 ※未就学児は無料。
- ▶その他の開催プログラム 実行委員会ホームページで確認してください
- ▶チケット取扱窓口 問い合わせ先のほか、道の駅那須高原友愛の森(☎0287(78)0233)、Café&Gallery BUZZ(☎0287(78)2000)
- ▶問い合わせ 那須クラシック音楽祭実行委員会 ☎0287(76)7268

11月19日(土)
来年3月26日(日)

地元の農業もっと知ろう！ 那須塩原の農家体験2022



- ▶とき ①レンコン収穫 11月19日(土) 午前9時30分～午後2時30分
②葉野菜収穫 来年3月26日(日) 午前9時30分～午後2時30分
- ▶ところ ①赤川農園(鹿野崎190)
②にへいふあ～む(佐野136-14)
- ▶対象 4歳～中学生とその保護者
- ▶定員 各回子ども25人 ▶参加費 一人1,000円
- ▶申込方法 ホームページから各開催日2日前までに申し込み
※定員になり次第締め切り。
- ▶問い合わせ shiobara viva
安在ますみ ☎080(3487)1015

11月10日(木)

防災をテーマにした講演会

- ▶とき 11月10日(木) 午後3時30分～
- ▶ところ 那須野が原ハーモニーホール小ホール
- ▶対象 どなたでも
- ▶講演内容 「目からうろこの地震防災対策」
- ▶講師 防災システム研究所 所長 山村 武彦 氏
- ▶定員 390人 ▶参加費 無料
- ▶持ち物 タオル1本
※社会貢献活動の一環で那須赤十字病院へ届けます。
- ▶申込方法 (公社)大田原法人会へ電話またはFAXで申し込み ▶申込期限 11月9日(水)
- ▶申し込み・問い合わせ 公益社団法人大田原法人会
☎0287(23)4802/FAX0287(22)5985

ミニ 自治会だより

「ミニ自治会だより」では、市内自治会やその活動を紹介します。

地域防災のデジタル化(北栄町自治会)

▶問い合わせ 市民協働推進課 ☎0287(62)7151

年々増えている自然災害などの発生時、「情報の発表～その情報を全戸に伝達～支援体制確認と実施～全戸が警報に沿った行動を実施」までに掛かる時間で、明暗が分かれると言われていました。私たちはそれをデジタル化し、独自の北栄町自治会一斉メールの機能(リモコンメール、回答システムなど)を駆使して、「15分以内で！」実施することを目指しています。今春から、まずは全戸の一斉メール登録をスタートしました。今後も、更に充実した支援体制を整えていきたいと考えています。



北栄町自治会 会長 佐藤 昭治

ちっちゃな自然

み～つけた

NO. 210



バックナンバーはこちら▲

自然を愛そう那須塩原

気になる花 ～フウロ2種～



左：アメリカフウロ 右：ヒメフウロ
撮影日：2022.5.24 撮影場所：鍋掛

水田のあぜ道を散歩していると以前は見られなかった花が咲いているのを、ここ数年でよく見かけるようになりました。紹介する2つのフウロは、帰化植物です。帰化植物とは、およそ明治維新以降に外国から日本にもたらされた植物です。写真の左側はアメリカフウロです。草丈は30センチメートル程で、直径5ミリメートルの淡紅色の5弁花を数個つけます。写真の右側はヒメフウロです。草丈は20～60センチメートルで、直径15ミリメートルの淡紅色の5弁花を数個つけます。おしべの葯が赤いのが特徴です。図鑑に載っていない植物があったら帰化植物を疑ってください。畑に生えている雑草は、ほとんど帰化植物です。気を付けて見ていきましょう。 おさむ



“那須塩原ブランド”を味わおう



豊かな自然と那須疏水の清らかな水に恵まれた本市はお米の生産も盛ん。収穫を終え、新米の販売が始まった那須塩原ブランド米を紹介します！

▶問い合わせ 農務畜産課 ☎0287(62)7147

(有)ナスアグリ「自然耕米」

お話を伺ったのは…
(有)ナスアグリ 澤田 吉夫さん



「自然耕米」ってどんなお米？

化学肥料や農薬を極力使わず、カエルやドジョウなどが生息する自然の姿そのままの田んぼで実った、食味の良い大粒のお米です。食べて元気になるお米を栽培したいという思いから、「プロポリス」を配合した「プロポリス米」の商標も取得し販売を始めました。

おすすめの食べ方は？

炊きたてはもちろん、冷めてもおいしいのでおむすびをはじめ、お弁当にぴったりです。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

